

# 事業報告書

平成21(2009)年度

〔平成21(2009)年4月1日から  
平成22(2010)年3月31日まで〕

## (1) 農作物共済関係 (引受)

区分		項目	組合員数	筆数	引受面積	引受収量	共済金額
			人	筆	ha	kg	円
水稻	一筆		13,378	67,011	620,898.6	21,855,720	4,589,669,070
	半相殺		24	82	906.3	35,862	7,531,020
	小計		13,402	67,093	621,804.9	21,891,582	4,597,200,090
麦 (22年産)	一筆		15	377	4,758.2	57,019	3,675,131
	半相殺		0	0	0.0	0	0
	小計		15	377	4,758.2	57,019	3,675,131
合計			13,417	67,470	626,563.1	21,948,601	4,600,875,221
対前年比	水稻		△538	△931	1,030.9	84,010	△127,661,785
	麦		3	35	49.0	△1,852	△280,944

区分		項目	共済掛金			交付金(b)	納入保険料(c)	手持共済掛(a)+(b)又は(a)-(c)
			掛金総額	国庫負担額	農家負担額(a)			
			円	円	円	円	円	円
水稻	一筆		41,761,077	20,877,185	20,883,892	4,558,494	0	25,442,386
	半相殺		104,613	52,301	52,312	8,921	0	61,233
	小計		41,865,690	20,929,486	20,936,204	4,567,415	0	25,503,619
麦 (22年産)	一筆		314,014	167,219	146,795	30,905	0	177,700
	半相殺		0	0	0	0	0	0
	小計		314,014	167,219	146,795	30,905	0	177,700
合計			42,179,704	21,096,705	21,082,999	4,598,320	0	25,681,319
対前年比	水稻		3,686,217	1,843,234	1,842,983	2,062,518	0	3,905,501
	麦		△7,347	△3,719	△3,628	△10,737	0	△14,365

### 引受の概要

#### (水稻)

管内の引受面積は6,218ha(対前年比100.2%)となり、共済金額は45億9720万円となっている。

#### (麦)

営農集団等の作付中止もあったが、新規作付けにより引受は微増となる。

## (被害申告)

区分		被害申告			組合評価高		
		戸数	筆数	面積	被害組合員数	筆数	面積
水 稲	一筆	509	1,222	12,483.3	429	963	8,917.6
	半相殺	0	0	0.0	0	0	0.0
	小計	509	1,222	12,483.3	429	963	8,917.6
麦 (21年産)	一筆	6	30	409.3	6	26	305.4
	小計	6	30	409.3	6	26	305.4
合 計		515	1,252	12,892.6	435	989	9,223.0
対前年比	水 稲	39	167	2,326.3	32	132	1,734.9
	麦	0	△19	△43.8	0	△9	△3.0

区分		組合評価高				金額被害率	備考
		共済減収量	分割減収量	分割後減収量	支払共済金		
		A	B	A-B			
水 稲	一筆	139,419	9,490	129,929	27,285,090	0.6	
	半相殺	0	0			0.0	
	小計	139,419	9,490	129,929	27,285,090	0.6	
麦 (21年産)	一筆	3,142	246	2,896	180,344	4.6	
	小計	3,142	246	2,896	180,344	4.6	
合 計		142,561	9,736	132,825	27,465,434	0.6	
対前年比	水 稲	16,563	7,045	9,518	1,155,903		
	麦	1,112	△329	1,441	113,099		

◎金額被害率＝共済金/共済金額

## (被 害)

区分		風水害		病虫害 (いもち・ウンカ等)		鳥獣害 (イノシシ・シカ等)	
		面積	減収量	面積	減収量	面積	減収量
水 稲	一筆	834.3	6,408	1,174.2	12,630	4,405.2	76,362
	半相殺						
	小計	834.3	6,408	1,174.2	12,630	4,405.2	76,362
麦 (21年産)	一筆					228.9	2,360
	小計	0.0	0	0.0	0	228.9	2,360
合 計		834.3	6,408	1,174.2	12,630	4,634.1	78,722

区分		干害 (その他)		土壌湿潤害		合 計	
		面積	減収量	面積	減収量	面積	減収量
水 稲	一筆	2,503.9	44,019			8,917.6	139,419
	半相殺						
	小計	2,503.9	44,019	0.0	0	8,917.6	139,419
麦 (21年産)	一筆			76.5	782	305.4	3,142
	小計	0.0	0	76.5	782	305.4	3,142
合 計		2,503.9	44,019	76.5	782	9,223.0	142,561

## 被害の概要

平成21年産水稲は、台風の影響も無く概ね順調な生育となったが、5月6月の極端な少雨により一部地域に移植不能が発生した。またイノシシ・シカによる獣害は例年のように発生し被害の大半を占めている。

(支 払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源			実支払率
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金	
水 稻		12月22日	円 27,285,090	円 6,821,272	円 20,463,818	円 0	% 100
麦		12月1日	180,344	45,086	135,258		100
合 計			円 27,465,434	円 6,866,358	円 20,599,076	円 0	% 100

◎実支払率＝実支払共済金/共済金

(2) 家畜共済関係

(引受)

区分	項目	戸数	有資格頭数	事業計画頭数 (A)	引受頭数 (B)	(B)/(A)	共済金額
		戸	頭	頭	頭	%	円
成乳牛	(実)	75	3,090	3,068	3,055	99.5	691,096,517
育成乳牛			367	367	329	89.6	26,608,551
乳用子牛			393	364	334	91.7	13,661,887
乳用胎児			3,161	3,200	3,451	107.8	55,791,787
肥育用成牛	(実)	136	1,670	1,476	(1) 1,657	112.2	(240,000) 204,614,000
肥育用子牛			38	38	217	571.0	7,674,500
他肉成牛			1,382	1,382	(2) 1,351	97.7	(278,124) 230,966,593
他肉子牛			289	289	284	98.2	26,145,786
他肉胎児			1,068	1,307	(2) 1,297	99.2	(99,565) 60,100,021
一般馬	2	12	6	6	100.0	570,000	
種豚		527	137	0	0.0	0	
肉豚		4,683	900	0	0.0	0	
合計	[実戸数]	213	16,680	12,534	11,981	95.5	(617,689) 1,317,229,642
対前年比	[実戸数]	△6	△608	517	△13		△7,385,231

区分	項目	共済掛金			納入保険料	納入技術料	交付金	手持共済掛金
		総額	国庫負担額	農家負担額				
成乳牛		円 159,149,700	円 79,518,076	円 89,612,818	/	/	/	
育成乳牛	1,406,166							
乳用子牛	8,575,028							
乳用胎児								
肥育用成牛	6,271,284	円 13,631,057	円 15,827,813					
肥育用子牛	1,251,576							
他肉成牛	13,354,790							
他肉子牛	8,581,220							
他肉胎児								
一般馬	121,426	60,712	60,714					
種豚	0	0	0					
肉豚	0	0	0					
合計	198,711,190	93,209,845	105,501,345	7,311,295				73,227,021

## (事故：死亡廃用事故)

区分	事故頭数			支払共済金 円	備考 (前年度死廃頭数) 頭
	死亡 頭	廃用 頭	計 頭		
成乳牛	229	200	429	81,904,367	371
育成乳牛	3	2	5	386,926	6
乳用子牛	15	2	17	486,800	9
乳用胎児	232	1	233	6,874,635	262
肥育用成牛	34	3	37	4,086,947	25
肥育用子牛	5	0	5	269,741	4
他肉成牛	11	8	19	2,880,609	18
他肉子牛	8	0	8	464,039	9
他肉胎児	39	1	40	2,438,972	54
一般馬	0	0	0	0	0
種豚	2	0	2	78,000	3
肉豚					
合計	578	217	795	99,871,036	(前年度支払共済金) 円
対前年比	25	9	34	6,086,539	93,784,497

## (事故：疾病・傷害事故)

区分	項目 件数	支払共済金 円	1件平均 円	頭数事故率 (件数/引受頭数) %	備考 (前年度病傷件数) 件
成乳牛	3,919	75,471,930	19,257	128.2	4,170
育成乳牛	120	1,223,060	10,192	36.4	136
乳用子牛	104	782,480	7,523	31.1	50
乳用胎児	531	3,050,320	5,744	15.3	529
肥育用成牛	187	1,845,090	9,866	11.2	220
肥育用子牛	35	297,710	8,506	16.1	25
他肉成牛	930	8,988,050	9,664	68.8	928
他肉子牛	145	1,237,890	8,537	51.0	158
他肉胎児	480	4,559,870	9,499	37.0	541
一般馬	2	17,040	8,520	33.3	1
種豚	0	0	0	0.0	0
肉豚					
合計	6,453	97,473,440	15,105	53.8	(前年度支払共済金) 円
対前年比	△ 305	△ 8,471,400			105,944,840

総合計	死廃共済金	病傷共済金	計
	円	円	円
	99,871,036	97,473,440	197,344,476

### (3) 果樹共済関係

#### (引 受)

年度	項 目 果樹区分	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	共済掛金			納 入 保険料 (B)	手 持 共済掛金 (A)-(B)
						掛金総額	国庫負担額	農家負担額 (A)		
20 年度	21年産うんしゅう みかんⅠ類	203	2,043.3	404,985	16,343	833,493	416,694	416,799	453,146	127,771
	21年産うんしゅう みかんⅡ類	171	1,552.6	204,807	9,654	328,236	164,118	164,118		
	計	人 (実) 254	ハ 3,595.9	kg 609,792	千円 25,997	円 1,161,729	円 580,812	円 580,917	円 453,146	円 127,771
21 年度	22年産うんしゅう みかんⅠ類	191	1,889.0	407,399	19,290	983,790	491,844	491,946	507,038	149,723
	22年産うんしゅう みかんⅡ類	166	1,529.4	196,718	9,695	329,630	164,815	164,815		
	23年産なつみかん	34	296.0	44,183	2,240	112,000	56,000	56,000	37,004	18,996
	23年産指定かんきつ Ⅰ類	35	280.0	40,358	2,805	140,250	70,125	70,125	252,739	129,736
	23年産指定かんきつ Ⅱ類	52	515.0	97,123	12,494	624,700	312,350	312,350		
	計	人 (実) 256	ハ 4,509.4	kg 785,781	千円 46,524	円 2,190,370	円 1,095,134	円 1,095,236	円 796,781	円 298,455

(引受方式 半相殺減収総一般)

#### 引受の概要

かんきつ組合との関係強化を軸に全戸、全園地加入を目標に引受推進をした。うんしゅうみかんは、高齢化等の理由により廃園が増え、引受面積は前年を177.5a下回る結果となった。しかし、夏みかん・指定かんきつの新規引受を始めたことから、かんきつ組合等の協力により、引受面積で913.5a増加し共済金額でも2052.7万円の増となった。

#### (被 害)

年産	果樹区分	種類	被 害 組合員数	認定 減収量	共済金	金額被害率	備 考
20 年度	21年産うんしゅうみかん 半相殺減収総一般	Ⅰ類	人	kg	円	%	
		Ⅱ類					
	計		人	kg	円	%	
対前年比			△ 5	△ 7,087	△ 129,790	0.7	

#### (支 払)

果樹区分	項 目 支払月日	実支払共 済金	共 済 金 支 払 財 源			実支払率
			保険金	手持掛金充当額	法定積立金	
21年産うんしゅう みかん		円	円	円	円	%

#### 被害の概要

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

項目		組合員数	筆数	引受面積	引受収量	共済金額
大 豆	一筆	人 15	筆 698	㎡ 9,646.2	kg 92,330	円 12,661,466
	半相殺					
	合計	15	698	9,646.2	92,330	12,661,466
対前年比		人 △2	筆 29	㎡ △83.9	kg △5,628	円 △345,911

項目		共済掛金			納入保険料(b)	手持共済掛金(a)-(b)	備 考
区分		掛金総額	国庫負担額	農家負担額(a)			
大 豆	一筆	円 1,139,524	円 626,730	円 512,794	円 398,841	円 113,953	
	半相殺					0	
	合計	1,139,524	626,730	512,794	398,841	113,953	
対前年比		円 △47,004	円 △25,853	円 △21,151	円 △16,450	円 △4,701	

(被害申告)

区 分	被害申告筆数	面 積	備 考
大 豆	一筆	筆 318	㎡ 4,957.1
	半相殺		
	合計	318	4957.1
対前年比		筆 193	㎡ 3486

区 分	組 合 評 価 高						金 額 被害率	備 考
	被害組合員数	面 積	共済減収量A	分 割 減収量 B	分割後 減収量 A-B	支払共済金		
大 豆	一筆	人 11	㎡ 2,687.8	kg 12,527	kg 2,001	kg 10,526	円 1,485,598	% 11.7
	半相殺							
	合計	11	2687.8	12,527	2,001	10,526	1,485,598	11.7
対前年比		人 4	㎡ 1826.2	kg 7,776	kg 963	kg 6,813	円 1,057,347	% 8.4

◎金額被害率=共済金/共済金額

(被 害)

項目		湿潤害・雨害	獣害	病虫害	干害	合計(分割後)	備 考
大 豆	一筆	㎡ 2,106.3	㎡ 581.5	㎡ 	㎡ 	㎡ 2,687.8	
	半相殺						
	合計	2,106.3	581.5			2,687.8	
対前年比		㎡ 2106.3	㎡ △156.3	㎡ 	㎡ △123.8	㎡ 1826.2	

(支 払)

項目	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払率
			保険金	手持掛金充当 額	法定積立金	特別積立 金	業務勘定から 借り	
大 豆	平成22年	円	円	円	円	円	円	%
	3月25日	1,485,598	1,337,038	148,560	0	0	0	100

◎実支払率=実支払共済金/共済金

## (5) 園芸施設共済関係

(引 受)

区分	項目	内訳	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	備考
ガラス室Ⅰ類		特定	人 1	棟 1	m <sup>2</sup> 280	千円 844	千円 675	
		附帯設備						
		内作物						
		計	1	1	280	844	675	
ガラス室Ⅱ類		特定	11	21	8,391	40,890	32,703	
		附帯設備				4,060	3,247	
		内作物						
		計	11	21	8,391	44,950	35,950	
プラスチックⅠ類		特定	1	1	516	531	424	
		附帯設備						
		内作物						
		計	1	1	516	531	424	
プラスチックⅡ類		特定	527	1,648	341,911	395,627	315,833	
		附帯設備				1,536	1,225	
		内作物				56,260	44,905	
		計	527	1,648	341,911	453,423	361,963	
プラスチックⅢ類		特定	113	415	124,838	271,485	217,026	
		附帯設備				670	536	
		内作物				12,350	9,868	
		計	113	415	124,838	284,505	227,430	
プラスチックⅣ類 甲		特定	38	75	28,343	64,808	51,817	
		附帯設備				376	300	
		内作物				6,130	4,901	
		計	38	75	28,343	71,314	57,018	
プラスチックⅣ類 乙		特定	17	23	11,550	31,093	24,863	
		附帯設備						
		内作物				860	688	
		計	17	23	11,550	31,953	25,551	
プラスチックⅤ類		特定	11	21	10,275	38,097	30,467	
		附帯設備				299	239	
		内作物				2,625	2,099	
		計	11	21	10,275	41,021	32,805	
プラスチックⅥ類		特定	17	137	27,337	17,183	13,694	
		附帯設備						
		内作物				3,196	2,149	
		計	17	137	27,337	20,379	15,843	
合 計		特定				860,558	687,502	
		附帯設備				6,941	5,547	
		内作物				81,421	64,610	
		計	(延べ) 人 736	棟 2,342	m <sup>2</sup> 553,441	千円 948,920	千円 757,659	
前年対比		人 Δ61	棟 Δ311	m <sup>2</sup> Δ77,114	千円 Δ259,257	千円 Δ207,271		

区分	項目		備考
	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	
	円	円	円
ガラス室Ⅰ類	1,266	1012	254
ガラス室Ⅱ類	22,108	17,676	4,432
プラスチックⅠ類	6,614	5,291	1,323
プラスチックⅡ類	7,858,757	6,286,318	1,572,439
プラスチックⅢ類	2,503,886	2,002,944	500,942
プラスチックⅣ類甲	553,838	443,046	110,792
プラスチックⅣ類乙	179,889	143,906	35,983
プラスチックⅤ類	94,586	75,661	18,925
プラスチックⅥ類	270,877	216,645	54,232
計	円 11,491,821	円 9,192,499	円 2,299,322
前年対比	△5,462,142	△4,369,634	△1,092,508

(被 害)

区分	項目			備考
	組合員数	棟 数	附帯施設数	
	人	棟	基	円
ガラス室Ⅰ類				
ガラス室Ⅱ類				
プラスチックⅠ類				
プラスチックⅡ類	46	58		3,015,711
プラスチックⅢ類	5	5		313,533
プラスチックⅣ類甲	5	5		977,046
プラスチックⅣ類乙	1	1		70,432
プラスチックⅤ類				
プラスチックⅥ類	1	2		187,320
計	(延) 人 58	(延) 棟 71	基 0	円 4,564,042
前年対比	11	11	0	1,392,631

区分	項目				備考
	特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	合 計	
	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅰ類					
ガラス室Ⅱ類					
プラスチックⅠ類					
プラスチックⅡ類	1,701,405		706,486	2,407,891	0.66
プラスチックⅢ類	250,696			250,696	0.11
プラスチックⅣ類甲	780,760			780,760	1.36
プラスチックⅣ類乙	56,275			56,275	0.22
プラスチックⅤ類					
プラスチックⅥ類			149,578	149,578	0.94
計	円 2,789,136	円 0	円 856,064	円 3,645,200	% 0.48
前年対比	917,588		195,146	1,112,734	

(支 払)

区分	項目	共済金支払財源					実支払率	
		実支払共済金	保険金	手持掛金充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額		業務勘定から借り
		円	円	円	円	円	%	
園芸施設		3,645,200	3,280,652	364,548	0	0	0	100

(6) 任意共済関係

①建物共済

(引 受)

区分	項目	加入棟数	共済金額	共済掛金		1棟あたりの平均共済金額	備考
				純共済掛金	賦課金		
	火災共済	棟 37,520	万円 47,911,618	円 190,881,881	円 155,762,805	万円 1,277	
	総合共済	11,245	6,494,521	103,966,887	54,736,071	578	
	合計	棟 48,765	万円 54,406,139	円 294,848,768	円 210,498,876		

引受の概要

建物共済の加入は、新規加入が約65億円と共済委員さんの推進により一定の成果が見られるが、山間部での人口の減少にともない無人住宅が増加しているため未継続になる状況が増え、ここ数年大幅に前年度実績を下回っているのが現状である。一方、組合全域で総合共済への変更および増額等となっているが、これは自然災害等の損害補償への関心が高まっていることや、税制改正で地震保険料部分が控除されることが考えられる。引き続き自然災害に対応できる総合共済加入への推進取組みを強化するほか、依然として落雷の被害件数が多いことから、補償の充実を図るため住宅物件には臨時費用担保特約付加の推進を行う。

(事 故)

区分	項目	事故棟数	対象共済金額	支払共済金	備考
	建物共済	棟 223	万円 309,641	円 218,611,099	火災、落雷、雪害、風水害、物体の飛来・衝突等、盗難による毀損・汚損、給排水設備による漏水等
	対前年増減	△ 121	△ 140,825	66,860,945	

②農機具共済

(引 受)

区分	項目	加入台数	共済金額	共済掛金		1台あたりの平均共済金額	備考
				純共済掛金	賦課金		
	総合共済	台 3,247	万円 456,169	円 14,028,879	円 7,248,960	万円 140	
	火災共済	353	24,738	273,364	148,803	70	
	合計	台 3,600	万円 480,907	円 14,302,243	円 7,397,763		

引受の概要

中山間地域において、法人・集団化等により加入農機具が減少傾向にあるが、大型（高額）農機具の加入があり、前年度と比べて引受共済金額は増加している。また、年度当初に加入者へ加入確認通知を発送し、事故発生時の連絡を早急に頂くように促し、休日対応もできるようにした。引き続き対象事故や掛金の割増・割引制など、制度への理解を深めていくとともに、引受増加を目指した取組みをする。

(事 故)

区分	項目	事故台数	対象共済金額	支払共済金	備考
	農機具損害共済	台 55	万円 22,732	円 9,838,130	衝突、転覆、接触、墜落、異物の巻き込み
	対前年増減	8	5,930	△ 1,178,666	

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

区分	項目	加入台数	共済金額	減価共済金	共済掛金		備考
					純共済掛金	賦課金	
	更新共済	台 10	万円 1,939	万円 1,939	円 2,826,136	円 60,885	

引受の概要

法人・営農集団でおもに計画的に大型農機具を更新するものについて、加入の要望がある。制度の内容を十分に説明し、対応している。

(事故及び期間満了)

区分	項目	台数	加入共済金額	支払共済金	備考
事故		台 1	万円 400	円 85,112	接触
期間満了		2	440	4,400,000	
合計		台 3	万円 840	円 4,485,112	
対前年増減		△ 2	△ 790	△ 5,422,584	

